



令和2年度

# 学校だより

2月号



～ひとがすき まちがすき いわさきの子～  
横浜市立岩崎小学校 電話 331-5123  
FAX 331-5343

90周年キャラクター「ヒマリン」



## 変わらないもの～人と人のつながり～

副校長 西山 久美子

1月初めに緊急事態宣言が出されました。岩崎小でもこれまでの感染症対策を今一度確認するとともに、時差登校やパーテーションを使用しての給食など新たな取組も取り入れ、引き続き対策を徹底してまいります。こういう状況だからこそ「何ができるか」「どのようにしたらできるのか」という前向きな思考で、子どもたちの充実した学びを支えていきたいと考えます。保護者の皆様には、引き続き毎日の検温と健康観察票のご記入などのご協力をお願い申し上げます。

さて、岩崎小学校の旧校舎3階からは、西のかなたにいつも変わらず堂々とそびえる富士の姿を望めます。この季節は青い山肌にうっすら雪がかかる日、頂上が真っ白な日、毎朝違った姿が見られます。すがすがしい朝の空気ときれいな富士山に、今日もいい一日になりそうだなと思いながら校舎を回っています。

そして、そんな気持ちをさらに高めてくれるのが、子どもたちとの出会いです。新しい学年での初めての「出会い」はもちろん、毎朝の「出会い」も大切なひと時。校門や通学路での「おはようございます」の挨拶は、新しい気持ちで一日をスタートさせてくれます。元気いっぱい「おはようございます」と笑顔を見せたり、友達と話しながら声をそろえて挨拶をしたり、時には前方に見えた友達に追いつこうと挨拶しながら急ぎ足で門を入ったり、同じ朝の挨拶の中にも、日によって様々な「出会い」があります。そして、こういう毎日の中に子どもたちの成長の姿を見ることができるとき、心から嬉しいなあと感じています。

ところで、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。スマホもパソコンもなかった私の小学生時代からの生活の変化は言うまでもありませんが、ここ最近を考えても「リモート」「オンライン」などの言葉とともに、人とつながる手段の多様化や変化のスピードに驚くことがたくさんあります。なるほど、ソーシャルディスタンスのためにはこんなよい方法があるのか、こういう方法を使うと簡単に相手に連絡できるのかと今更ながら新しいスタイルの便利さを感じています。これからも人間が必要と考えたことが現実となり、さらに生活環境が変わっていくことでしょう。しかし、目と目を合わせ、直接言葉を交わし、気持ちを伝え合ったりお互いを思いやったり、時には意見をぶつけ合ったりする「直接のつながり」は、昔から変わることなく見られる姿です。1年生がどんぐりゴマを作りながら「楊枝を刺すバランスが大事だよ。」と友達に教える、係活動で「この方法の方がいいよ。」と自分の考えを伝える、休み時間に思いきり友達を追いかけて鬼ごっこを楽しむ、学校でのどの場面も直接人と関わらなければできないことです。そして直接かかわるからこそ楽しめたり、あるいは悩んだり、知恵を働かせて解決策を考えたりができるのです。人とかかわりの中でしか経験できないこと、人と一緒にだから喜べることは、今も昔もそしてこの先も変わらず必要なことなのだ、子どもたちの日々の笑顔を見ていて強く感じます。私たち大人は、人とのつながりを通して成長してきた経験から、子どもたち同士のかかわりを近くで時には少し離れたところから見守り、応援していきたいと思えます。どんなに環境が変化しても、子どもたちが人との豊かなかかわりの中で、心も体もたくましく成長してほしいと願っています。

学校から望む美しい景色と子どもたちの明るい挨拶は、今日も変わらず岩崎小に元気をそして「変わらないもの大切さ」「つながることのありがたさ」を届けてくれています。